

事例10-6

取組名	近隣町会の伝統行事への合流参加		
町会名	はた 波田27区町会（波田地区）	町会 データ	・人口／916人 ・世帯数／301世帯 ・高齢化率／5.9% ・町会加入数／170世帯 ・隣組数／10組
取組概要	○ 近隣の波田4区町会の夏祭り（盆火）に合流参加し、町会内外の交流を促進 ○ 子どもたちが伝統行事に触れる機会を提供		

背景・課題

- ・ 当町会は、宅地造成地に新設された、発足からまだ15年ほどと比較的新しい町会で、若い世代の家族が多く子どもも多い。
- ・ 町会加入率は56%程度と低く、活動拠点となる町内公民館もない。
- ・ 伝統行事や町会が主催する祭りなど、住民が集まる機会もないことから、住民同士のつながりは希薄である。

経過・取組内容

- ・ 町会長は、地区子ども会育成会に所属し、子ども行事の企画・運営に携わっているが、地元町会（27区町会）は行事が少ないため、子どもたちが伝統行事やお祭りに触れる機会づくりの必要性を感じていた。
- ・ そこで、例年伝統行事の盆火*に合わせて、夏祭り（迎え盆）を実施している近隣の4区町会から参加のご提案をいただき、合流を申し出たところ、4区町会では子どもが減っていることもあり、快諾された。
- ・ 夏祭り当日は、町会出店の綿菓子・ポップコーン等の飲食やビンゴゲームに、27区町会の親子が多数参加した。
- ・ なお、27区町会では、町会役員が当日の出店の運営を手伝うほか、ビンゴゲームの景品等、実施に係る経費の一部を負担している。

成果・今後の展望等

- ・ 27区町会の親子が4区町会の夏祭りに参加す

ることで、町会内の住民同士だけでなく、町会を越えた交流が生まれた。

- ・ 夏祭りの飲食やゲームを楽しむだけでなく、子どもたちに「盆火」を見せることで、地域の伝統行事に触れる機会づくりができた。
- ・ 町会が行なっている行事等を広く周知することで、町会活動への参加促進や町会未加入者の加入に繋げたい。

夏祭り参加時の写真



堰を流れる盆火



*盆火：迎え盆・送り盆に行う行事で、藁でピラミッド型に作った盆火に火をつけて川（堰）に流すもの。町会長は、消防団員であった頃、消防団に盆火の回収が依頼されたことから、盆火を知った。

【ポイント】

- ▼ 町会の枠にとらわれない取組みで、町会内外の交流促進と町会活動への参加意欲の醸成